

INTERVIEW

刺激を受けて
ステップアップ



田川市ボランティアセンター

おせ 瑞穂 瑞穂センター長

PROFILE: まつりIN田川写真広報部副部長、川渡り神幸祭写真コンテスト事務局長、春日神社カレンダー制作委員会写真班長、作兵衛事務所ボランティア部代表など広く活動している。川宮在住。

当センターは、福岡県内で一番小さなボランティアセンターですが、広報力と機材の充実で団体を支援しています。本年度から3者連携の具体策の検討が始まりますが、団体同士やボランティアをやってみたくて思っている人との出会いの場が必要と感じています。他から刺激を受け、活動をステップアップできるように思っています。

問い合わせ

田川市
ボランティアセンター

(安全安心まちづくり課市民協働推進係内)

☎85-7113

窓口と情報が
明確に



福岡県立大学
社会貢献・ボランティア支援センター

はらだ 直樹 直樹センター長

PROFILE: 福岡県立大学の教員と共に学生教育をし、福岡県立大学社会貢献ボランティア支援センター長として、学生のボランティア活動推進のための支援をしている。

3つのボランティアセンターが連携することで、それぞれが持っている情報の共有や交通整理ができ、どこを窓口にしてもすべてにつながるようになります。これによって、ボランティア活動に関心のある大学生や市民のみならず、もっと気軽に活動に参加することができると思っています。この連携で本学学生の活動がより発展することを期待しています。

問い合わせ

福岡県立大学
社会貢献・ボランティア
支援センター

(福岡県立大学附属研究所棟1階)

☎42-1305

新しいことに
挑戦できる



田川市ボランティアサークル
連絡協議会

かつき 隆一 代表

PROFILE: 自身が田川市ボランティアサークル連絡協議会所属のボランティア団体「どんぐり」代表を務め、福祉イベント(ふくしまつり・あすなろ運動会など)を支援している。城山町在住。

田川市ボランティアサークル連絡協議会は、福祉の分野の人的ネットワークやボランティア活動のノウハウを蓄積しているという強みがあります。連携協定によって、それぞれが持つ強みが刺激し合っており、新しいことに挑戦する機会が生まれると思います。今後もボランティアのみならずを支援しながら、誰にとっても暮らしやすいまちを目指します。

問い合わせ

田川市ボランティアサークル
連絡協議会

(スマイルプラザ田川内)

☎44-5757

つながる 輪になる 広がる

ボランティアセンター連携協定

3月19日、田川市社会福祉協議会、福岡県立大学、田川市の各代表が「田川市内のボランティアセンターの連携に関する協定書」に署名。「美しいまちづくり」の実現に向けた新体制が確立しました。



奥から、田川市社会福祉協議会 國松茂雄会長
二場公人田川市長、福岡県立大学 柴田洋三郎学長

歴史は古く、絆は深い

市のボランティア団体の歴史は古く、昭和50年代には既に、田川市社会福祉協議会と福岡県社会保育短期大学(現在の福岡県立大学)に、点字や手話などのボランティア団体がありました。約40年以上たった今でも活動が続いている背景には、人と人が志を引き継いできたことに加え、活動を支援する「ボランティアセンター」の存在があったのです。

本市初のボランティアセンターは、田川市社会福祉協議会が運営する「田川市ボランティアサークル連絡協議会」です。昭和58年の設立以降、福祉系のボランティア団体を支え、現在は高齢者や障害者を支える7つの団体(手話・音読・点訳など)が所属しています。

同じように、福岡県立大学でも、障害者や高齢者、不登校や引きこもりの子どもなどを支えるボランティアサークルを大学生が自主的に設立。先輩後輩のつながりで歴史を紡ぎ、現在では11のサークルが活動しています。教育の一環でボランティア活動を取り入れている同大学は、平成21年に「社会貢献・ボランティア支援センター」を開設しました。同センターでは、外部からのボランティア活動の参加要請と大学生の意欲をマッチングして送り出す「送り出し型」の支援を実施。現在では、約7割以上の大学生が地域に根ざしたボランティア活動に動いています。

新しい拠点から輪を広げたい

本市は「美しいまちづくり」を推進するため、昨年8月に「田川市ボランティアセンター」を開設。まちづくり・環境保全・福祉・国際交流など、各分野のボランティア団体の登録を進め、交流や協力ができる新拠点を作ってきました。

3つ目のボランティアセンターの誕生。この節目を契機に、市内全域のボランティア団体へ支援を拡充したいと考え、市が田川市社会福祉協議会と福岡県立大学に連携を打診。ボランティア団体を支援することで地域社会の活性化や保健福祉の増進を図ると、同じ理念を持った3者が連携協定を締結しました。

今後は、ボランティアの育成や支援、情報交換など、具体的な連携策が動き出すことでさまざまな効果が見込まれます。そのひとつは、PR力の向上です。ボランティア活動の呼びかけやイベントの紹介など、これまで団体が独自に広めていた情報を、市の施設や広報紙、関係機関とのネットワークなどを活用して広範囲に発信できるようにします。

手を携えて次のステップへ

社会福祉協議会の國松茂雄会長は「福祉の分野を中心に、3者で連携しながら支援を待つ市民のために努力したい」と抱負を語り、福岡県立大学の柴田洋三郎学長は「今回の協定によって、大学生の自主的な活動が一層発展していくのではないかと期待をこじました。二場公人市長も「5千人以上が、ボランティアとして市のセンターに登録してくれました。今後は1人でも多くの人がボランティアに参加できる体制づくりに取り組むたい」と意欲を見せています。

本市には、誰かのために、地域のために役立ちたいという思いを持った人たちがいます。美しいまちづくりを推進するためには、多くの人に連携の輪に入ってもらうことが必要です。ボランティアセンターの連携を活用し、みなさんで手を携えて、次のステップを踏み出していきます。

報告!!

区長会が市に提案

～環境美化推進と広報紙配布の負担軽減～



3月20日、田川市区長会(大宅俊一会長)の代表が市役所を訪れ「田川市協働のまちづくり条例」に基づく「提案書」を市に提出しました。同条例は、市民と市が共にまちづくりを進めていくために平成29年4月に施行。今回初めて条例に基づいた提案書が提出されました。提案の内容は「環境美化の推進」「広報紙配布の負担軽減」の2点です。昨年6月の区長研修の題材に取り入れ、校区区長会や理事会で検討してきました。今後、区長会と市で「環境美化に取り組みやすい方策」「広報紙の折り込みの負担を軽減する方策」について協議していきます。

募集!!

清掃美化ボランティア

川渡り神幸祭・春日神社神幸祭

祭りを楽しみながら清掃するボランティアを募集します。ごみや空き缶のないきれいな祭りを目指しています。企業の参加も大歓迎。企業参加の場合は事前に連絡してください。
※受付で軍手とごみ袋を渡します。
※雨天の場合は中止です。



- 川渡り神幸祭 田川の宝!彦山川を創る会中流部会・まつりIN田川実行委員会共催
5月19日(土)・20日(日)14時~20時
受付:たがわ情報センター
5月21日(月)9時~10時、受付:お旅所
●春日神社神幸祭 中元寺川子どもの水辺協議会・後藤寺おまつり広場・春日社みこし会共催
5月26日(土)・27日(日)14時~16時
受付:後藤寺駅前おまつり広場
●問い合わせ 安全安心まちづくり課

「手づくり故郷賞」の受賞と「彦山川サケ放流」

～風治さつきの会と市に国土交通大臣から伝達～

3月13日、国土交通省九州整備局が、市役所で「手づくり郷土賞」をNPO法人風治さつきの会と田川市に伝達しました。これは、地域づくりの優れた取り組みに対して国土交通大臣が表彰する賞で、地域活性化、河川水質浄化、児童への環境啓発など、彦山川の水辺をいかしたまちづくりが認められました。伝達式の後には、川渡り神幸祭の会場となる彦山川で伊田小学校の4年生75人がサケの稚魚約200匹を放流しました。

この放流も、同会が取り組む環境啓発の一環で、同会と伊田校区まちづくり協議会が昨年12月にサケの卵を伊田小学校に寄贈。児童が4か月かけて卵をふ化させ稚魚に育てました。児童たちは命を育て放流するという体験を通して河川への愛着を深めています。



平成29年度「手づくり郷土賞」認定証伝達式
左から増田博行国土交通省九州整備局長、宇都宮誠風治さつきの会代表、二場公人田川市長



▲「元気で育ってね」と声をかけて川に放流

ボランティアに関係するイベント情報を募集!

イベント情報カレンダーを始めます。

- 募集内容 7月~8月のイベント
●掲載時期 6月15日号に掲載
●申し込み期間 4月16日(月)~5月15日(火)
●対象 市ボランティアセンターに登録している団体が主催するイベント

●申し込みの流れ

- ①電話で問い合わせる
②原稿を持参して申し込む
③掲載の可否が決まる
④掲載が可となれば6月15日号に掲載
※時期や内容によって掲載できない場合があります。

市に登録している団体が提供する情報と市が開催する情報を掲載

Table with 3 columns: Date, Time, and Event Details. Includes dates 23日 and 25日 with specific times and event descriptions like '筑豊路講座とウォーキング' and 'ボランティアと学校のマッチング説明会'.

市庁:市役所本館・別館 ボラセン:市ボランティアセンター 市会:市民会館 体:総合体育館 図:市図書館
美:市美術館 文セ:田川文化センター 青文:青少年文化ホール 県大:県立大学 社協:田川市社会福祉協議会

田川市市民活動団体登録受付中 ~設立や手続きなどの相談も実施~

登録しました クリスマスツリー実行委員会 (主な活動分野:環境保全)

【会の紹介】彦山川に関心をもってもらえるよう、クリスマスに電飾で河川敷を飾り、環境美化の啓発や地域の活性化に取り組んでいます。
【活動紹介】定例会は月1回。飾り付けに時間がかかりますが「きれいね」と言われることが喜びです。企業の協力で年々ツリーが大きくなっています。夜にはぶた汁やぜんざいを振る舞っています。
【代表者】水岡俊介さん 【設立】平成22年
【連絡先】事務局 ☎45-1413



▲昨年の12月で8回目。毎年電球を増やしています。

登録しました 伊田商店街子どもを応援する会 (主な活動分野:子どもの健全育成)

【会の紹介】伊田商店街の中に子どもの笑い声が響き、かつての活気を取り戻せるよう楽しいコンサートや体験教室を企画しています。
【活動紹介】定例会は月1回。昨年度はクラシックギター演奏や歌声喫茶、ハロウィンゴスペルコンサート、クリスマスソング合唱とお菓子のプレゼント、竹笛コンサート、竹笛やミニ門松作りを実施。
【代表者】小柳圭史さん 【設立】平成29年
【連絡先】フリースペース「おりじ」内 ☎85-8175



▲昨年のハロウィンでは魔法使いに変装しました。